

みんなで  
やらこい

第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画【普及版】

# 福祉でまちづくり

EPISODE II

第2子も松江で!

—吉晴さん家族の子育て奮闘記—



## 第2子も松江で!!吉晴さん家族の子育て奮闘記

八雲(エピソード・つばきさんの人生を参照)さんの甥である吉晴さん家族が県外から松江に転居してきました。吉晴さんは高校までは松江で育ちますが、妻のこなさんは知らない土地での生活が始まりました。

ひとり息子のただし君はもうすぐ1歳になります。よちよち歩きも始まり目が離せない状況です。



こなさんは初めての育児に漠然とした不安がありました。

どこに相談したらよいかわからず、つばきさん(八雲さんの妻)に相談しました。



福祉推進員をしていたつばきさんが「ふくしなんでも相談所」に相談したところ、子育て支援センターを紹介されました。時、同じくして、こなさんもインターネットで子育て支援センターを検索。

こなさんは子育て支援センターに連絡・相談して、松江市のいろいろなサポートを受けるようになります。

## 地域全体で子どもたちを育む

乳幼児期の子育ては24時間、休みなしです。特に初めての育児は不安もあり、母親のストレスは計り知れないものがあります。

子育ての情報はインターネット上にいくらでもあります…。

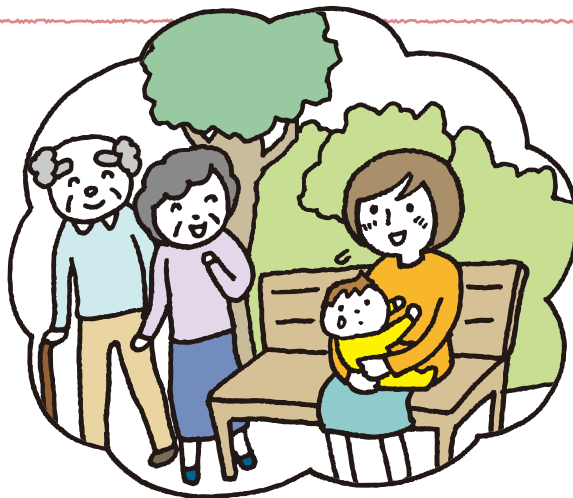


もう3か月も美容院に行っていないわ。ただしを2時間ほど見てくれる人がいないかな？ つばきさんにはこの前、買い物の間、頼んだから、そういつもいつもは頼めないし。

その情報がかえって【良い母親像】【母親はこうあるべき】と取られているように取れてしまったりすることも。



核家族化や地域の繋がりの希薄化により、周囲から適切な支援を受けられない場合、育児に対して孤立感や疲労感を抱くこともあります。  
(内閣府 少子化社会白書より一部引用)



少し気に留めてもらうこと、「大丈夫?」「どうしてる?」「それでいいんじゃない?」など、ちょっとした声を掛けてもらえることが、安心感につながるのではないのでしょうか。

### ファミリーサポート事業

子育てがひと段落して「その経験を生かして、困っている親子を助けたい」という方へ

松江市には「子育ての手伝いをしたい人」が会員となり、子育て家庭の援助を行う「ファミリーサポート」という事業があります。



あなたもファミリーサポート事業の会員になって、ご自身の力を困っている親子におすそ分けしませんか?

育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者を会員組織化して、一時的な子どものお世話をを行う、有償の援助活動です。

対象年齢 0歳から小学校6年生まで

利用報酬 子ども一人につき30分あたり 300円~400円

詳細はまつえファミリーサポートセンター ☎0852-32-0850まで

## 助けられやすい社会へ

『助けて!といえますか』(さわやか福祉財団 堀田力・近隣助け合い委員会 木原孝久編)の中で「助けて!」といえるのは50人中、1人か2人であると紹介されています。

だれもが、助けてとは言にくい反面、「助けて!」と言われれば、圧倒的多数の人が助けてくれるはず。少数ではありますが、助けて!と言われなくても、困っている状況がわかれば助ける人もいます。助けてと言われなくても助ける、そんな「おせっかい」が必要です。おせっかい出来る人が増える。「助けて!」と言える人が増える。そんな街になるといいのではないのでしょうか。



手をケガしてしまったわ。こんな時にだれか、家事を手伝ってくれれば助かるけど…。



《助け上手は、「助けられ上手」》

誰しも、「助けて!」とは言にくいものです。が、助けられることも、「社会福祉活動のひとつ」と考えるのはどうでしょうか。自分も助けてもらって、その心理を知るとは「助け上手」になるための知恵となります。

助け合いの始まるきっかけは「助けられる」体験をすることにあるという考えから、長野県須坂市では、福祉大会で助けられ上手さんに贈られる「助けられ大賞」という賞があるそうです。



### 訪問型子育てサポート事業

妊娠中の方や就学前のお子さんを育てている家庭で一時的に家事やお子さんの世話が必要な時、子育てホームサポーターが自宅に訪問して、有償で支援を行う事業です。松江市から民間の事業所が委託を受けて行なっています。

#### 対象

妊娠中の方、就学前のお子さんを育てている家庭

#### 利用料金

サポーターひとりにつき1時間当たり600円～800円

詳細は子育て支援センター ☎0852-60-8141まで

### どんなサポートが受けられるの?

- 妊娠中であまり忙しすぎる時、子供の世話や食事、洗濯、掃除などの家事をしてほしい。
- 保護者の体調がすぐれないとき、子供の世話や食事、洗濯、掃除などの家事をしてほしい。
- 育児や家事を少しでも軽減したいとき、子供の世話や食事、洗濯、掃除などの家事をしてほしい。
- 家で子供と二人きりなので、話し相手がほしい。沐浴のお手伝いをしてほしい。など

## 居場所とつながり



1990年代、「公園デビュー」という言葉を耳にすることが多くありました。現在では過去のものとなりつつありますが、人と人がつながり、気軽に情報交換が出来る場所(ツール)としての機能があったのかもしれない。

便利な世の中になり、インターネットを活用した情報交換は国や地域を超えてつながることが出来ます。その反面、SNSでのトラブルや誹謗中傷などは「つながる」ことを躊躇させます。また価値観の多様化・個の尊重は人と繋がることへの煩わしさを加速させていないでしょうか?今の時代、子どもから大人・お年寄りまで、意識しなければ「居場所」も「つながり」もなくなってしまいます。



### 子育てに関する 市民活動

松江市には子育てを支援する市民があつまって活動する子育てサークルがあります。「つながり」の場所のひとつとして参加してみませんか?

#### 子育てサロン〈ほっと♡ちょこっとカフェ〉



活動場所 —————  
おやこ劇場松江センター  
事務所、プラバホールなど  
参加費 —————  
概ね 500円

活動内容 —————  
わらべうた・絵本・あそび・音楽などのアートスタートを題材に、居心地のよい空間づくりで子育てを応援しています。

NPO法人おやこ劇場松江センター ☎ 0852-22-4937

#### 親子リズムサークル



- いちご
- ティガー
- ポップコーン
- ティンカーベル

活動場所 —————  
公民館など  
参加費 —————  
1200円/月(入会金100円)

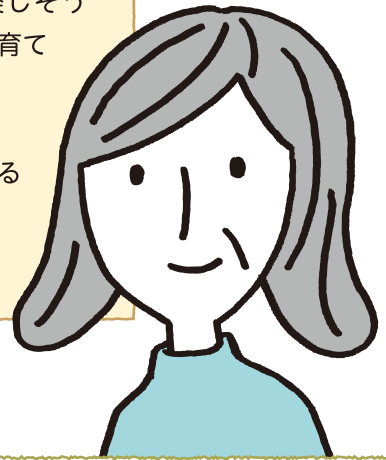
活動内容 —————  
リズム体操・絵本読み・工作・季節の行事等の活動をしています。

☎ 090-7995-9037 成瀬様まで

## 子どもたちの幸せを願う大人が増えること



最近のこなさん。表情も良いし、松江に来たころとは違ってとても楽しそう  
だわ。松江市にはいろいろな子育て  
支援があることも、こなさん  
がいたからわかったわ。  
私も子どもたちのために、できる  
ことをやってみようと思うの。



福祉推進員として特に高齢者の見守り活動をしていたつばきさんですが、こなさんから松江市のいろいろな子育て支援を聞いて、自分に出来ることを考えます。

ファミリーサポート事業のまかせて会員への登録や近所の食改さん(食生活改善推進員)と一緒に子ども食堂も始めました。

子ども食堂を始めたつばきさんですが、孤食の子どもがいることや給食以外、満足な食事を摂っていない子どもがいることに驚き、食事の楽しさ・大切さが伝わるよう季節に応じたメニューの提供や行事の時にはみんなで調理もしました。



### 子ども食堂

子ども食堂は、“ごはん”を通じて地域ぐるみで子どもを見守り育てていく、垣根のない居場所です。子どもたちが安心できる人たちと出会い、みんなで囲むあったかいごはんや勉強・遊びを通して、地域のなかで大事にされて「ほっ」と安心できる食堂を、皆さんの思いと工夫でつくっています！

2012年に東京で始まった子ども食堂は全国にひろがり、5086か所で実施されています。

(「全国こども食堂支援センター・むすびえ」調査

2020年末現在)



### 地域の交流拠点として

今、社会との接点が少ないまま、人に頼らず生きようとする人が多いのは、支援を求めても「自己責任」を問われがちな風潮を感じているからでしょうか。

お母さんも、子どもと一緒に「子ども食堂」を利用することで、地域の人や同じ子育て中の人たちとのつながりができ、地域コミュニティが誕生するなどの可能性が広がります。

詳細は松江市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎0852-24-5800まで

## 松江で子育てをして良かった・ 松江で育ってよかったと思えるまちに

吉晴さんとこなさんは、子育ての楽しさ・喜び・苦労を分かちあいながら日々を過ごしていました。特にこなさんは松江に転居した当時は不安いっぱい、ただし君を育てる事で精一杯でしたが、松江の子育て支援制度やママ友・近所の人・つばきさんなどたくさんの人達の支えで第2子も松江で生み育てたいと思うようになります。



ある地域で子どもたちの支援に尽力された、元校長先生の言葉です。

「その子の一生のわずかな時間でしかないが、自分のために一生懸命関わってくれたことが、その子の一生に大きな意味を持つことになる。」

「子どもの幸せを願う大人が増えることが、その街の子どもたちの幸せにつながる。」

社会全体が子どもの幸せな育ちと子育てを支援し、保護者が喜びを感じながら子育てができ、子どもの笑顔があふれる「子育て環境日本一」の実現を目指して、我々ひとりひとりが出来ることを考え、行動してみませんか？



令和3年4月リリース

## 松江の子育てAIコンシェルジュ事業

子育ての悩みを抱え込み1人で子育てをする「ワンオペ育児」の増加や、平成30年度に実施した「子ども・子育て支援ニーズ調査」において、「もっと子育てに関する情報が届きやすい環境にしてほしい」、「制度のことをどこに聞いたらいいかかわからない」といった意見が寄せられているところです。

上記課題を解決するため、子育て世代に幅広く普及しているソーシャルメディアであるLINEを活用して、AIが即時回答をするシステムを構築し、子育てに関する疑問や悩みをいつでも相談できる環境を整えます。

LINEで質問すれば  
すぐに答えてくれるよ！

